

令和2年度“オール近大”新型コロナウイルス感染症 対策支援プロジェクト研究報告書

企画題目	コロナ禍よ（世）、さらば！ 一癒しの世界へのいざな（誘）い！ー
研究者所属・氏名	研究代表者：重岡 成 共同研究者：佐藤明彦、伊藤仁久、志水恒介、堀川勇次、友廣教道、津本光貴、日下秀人、宮原 睦、岩森明彦、浦西章生

1. 研究、開発・改良、提案目的・内容

農業の生産現場には元々ヒトの心を癒すセラピー効果やアメニティ効果があり、大自然や広大な農場風景、動植物映像の視聴がストレスの解消と心の安らぎにつながると考えられる。そこで、本プロジェクトでは、本学附属農場（湯浅・生石）が所有する広大な農地、生産物、製品を活用した“クイズ”や“ぬりえ”を作成し、コロナ禍での余暇を楽しむ素材を広く提供した（中課題1；みんなで近大附属農場を楽しもう！）。

また、附属農場の風景、作物や果樹、水田の生き物などの自然をふんだんに取り入れた映像を作成し、オンラインコンテンツの充実化によるバーチャル農作業体験といった癒しの場を提供した（中課題2；サイバー農場見学会によろこそ！）。

2. 研究、開発・改良、提案経過及び成果

本研究課題により、附属農場や農作業に関連する“クイズ”を作成してホームページで公開した。さらに、柑橘類をモチーフにした“ぬりえ”を作成して公開、“ぬりえ”を完成させて応募者を募り、その中から抽選による当選者に附属湯浅農場産みかんジュース“無添加みかんジュース「100%近大です。」”を贈呈した。また、農場の四季の移り変わりや農場の生き物の動画・写真を撮影し、YouTube等で公開予定である。

中課題1；みんなで近大附属農場を楽しもう！

“クイズ”は、附属農場で栽培している作物や果樹、水田や圃場で観察できる生き物、和歌山県にちなんだ問題を作成した。共同研究者である教・（技術）職員全員で、問題を持ち寄って内容を検討し、“クイズ”として最終的に20問に解答とそれらの解説文を作成し、附属農場のホームページ上に公開した。

“ぬりえ”については共同研究者である技術職員がいずれも柑橘をモチーフにし、難易度が異なる3種のデザインを考案・作成した。Twitterとホームページで募集を行い、“ぬりえ”を完成させた人の中から“無添加みかんジュース「100%近大です。」”を贈呈した。なお、応募者より送られてきた“ぬりえ”については、「みんなの作品館」としてホームページに公開するとともに、農場のパネルとしても利活用し、広く楽しんでもらうこととした。また、“ぬりえ”を別課題「コロナ禍社会からの脱却 ー農地を耕す：自然の恵みを活かす！ー」の石鹸のパッケージデザインに用いることにより、衛生用品の石鹸として利用するだけでなく、パッケージを見ることによる視覚的な癒しという二重の効果を期待した。

中課題2；サイバー見学会によろこそ！

動画や写真は初夏から撮影を開始し、これまでにマンゴーの収穫、接ぎ木、水田の生物、稲刈り、アイガモの肥育の様子などの写真・動画の撮影を行なった。

技術職員（2名）が、上空からの撮影を行うドローン（無人航空機）の操縦に関する講習会を受講し、操縦免許を取得した。操縦免許取得後、航空局への許可申請を経て、11月から撮影を開始した。ドローンにより、みかんの収穫作業、湯浅農場および生石農場の風景、大型倉庫での摘果作業などについて撮影し、現在編集作業を行っている。さらに現在、GoPro製のウェアラブルカメラを用いた動画撮影も進行中である。

今後、編集した映像についてはYouTube等で公開予定である。

3. 本研究と関連した今後の研究、開発・改良、提案計画

ドローン等による動画撮影については、引き続き行って画像データとして蓄積するとともに、今後も随時公開していく。

4. 研究成果の発表等

発表機関名	種類(著書・雑誌・口頭)	発表年月日(予定を含む)

5. 開発・改良、提案課題の成果発表等

ニュースリリース 1件

・「近大せっけん」を地元湯浅町・有田川町内の小学校・中学校に寄贈 みんなでしっかり手を洗おう！ 令和3年4月上旬リリース予定(寄贈式 令和3年4月13日予定)
(近大せっけんのパッケージに本課題の“ぬりえ”を使用しているため明示する。)